

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.178



長門ハーモニカサークルのみなさん

どこか懐かしく心に沁みる
ハーモニカの豊かな音色と
多彩な調べ
ゆっくりと時間が流れ
心癒されるひととき



深川小学校の歴史 その三 尋常高等小学校から国民学校へ

大正時代から国際交流が行われていたことを知る人は少ないと思います。

大正十二年（一九二三）に深川小学校少年赤十字団が出来ました。

少年赤十字団は大正十一年（一九二二）、滋賀県の小学校で始まったのが日本での始まりといわれており、その後、全国で加盟校が増えていきました。深川小学校も外国の少年赤十字団に国際通信を送り、その返事が来たことが『深川小学校百年史』に書かれています。

大正十三年（一九二四）第一校歌制定。この校歌の存在はあまり知られていません。

ませんが、児玉花外（作詞）、嶋田義夫（作曲）でした。当時の校長であった松岡唯介氏が長門を訪れていた児玉花外に作詞を依頼しました。通小学校の校歌も花外が作詞しています。

現在も歌い継がれている校歌は、第二校歌（松岡唯介作詞・嶋田義夫作曲）と呼ばれ、昭和五年（一九三〇）に制定されました。

昭和に入り、戦争が学校教育にも影響を落とし始め、昭和十六年（一九四一）には深川町立深川国民学校と改称されました。

第一 深川小学校校歌



第一校歌

- 一、毛利の昔思出の 桜と武士に日章旗 雪より清き誠こそ かざす尊き印なれ
- 二、勇はとどろく青海島 徳は静かに智の月を 磨き学びて怠らず 正しき道を進むべし
- 三、龍児むらがる深川校 多多浜松の若みどり 伸びて諸共栄え行く 国の柱とならんかな
- 四、大津郡なる中央に 歴史は長し愛の庭 希望光りに恵まれて 恩師のもとに育たなん

わが家の王子



たけもり ひなた 竹森 陽向さん（2歳3か月）

アンパンマンが大好きです♪
これから、いろんなことに挑戦
していこうね！

今月のうた

山茶花クラブ

山寺の庫裏の入口落し文
緑の手空に揺げる大樹かな
つつじ咲く山一面の呼吸かな
中村 瀧江
川村 雅春
永田美智子

長門短歌会

先輩の句に見ることば「青き踏む」
春らしき季語知り胸躍る
原田 満江
ウインドに映る我見て振り返る
鏡は素直戻れぬ昭和
佐貫 勝代
「僕はね」と吾には見せない笑顔して
父は受話器の向こうの友と
山下 映子

深川地区の人口

世帯数	5,996 (+14)
男性	5,746 (-18)
女性	6,632 (-15)
計	12,378 (-33)
(R4年5月1日現在)	

中央公民館6月の行事予定

4(土)	子どもクラブ
4(土)・18(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
5(日)	深川地区対抗ソフトボール大会
8(水)・22(水)	親子でJミックス
11(土)・25(土)	わくわく土曜塾
26(日)	パター・de・ビンゴ大会

編集後記

▼山の色も椎の木に代
表される新緑の若葉か
ら濃い緑へ。菖蒲、あや
め、杜若(かきつばた)の
紫に蛍の舞う季節。私
は今の季節が一番好き
です。日本に生まれてよ
かったと実感できる季
節。四季は刻一刻と移
ろいつつあります。

中央公民館を みんなの力でさらに元気に！

4月27日(水)、中央公民館運営協議会の総会が開催され、公民館登録団体や理事を含めて39人が参加。前年度の活動報告及び今年度の事業及び予算案などが審議され、すべて承認されました。

公民館は、多くの人が気軽に「つどい」「まなび」「つながる」地域の社会活動や生涯学習の拠点施設です。もともと身近に感じられるよう、お互いの交流を深めながらさらに魅力ある公民館をみんなで目指しましょう。

「第43回中央公民館まつり」
9月24日(土)・25日(日)に
開催予定

公民館力を高めるための めざす姿

- 1 誰もが気軽に立ち寄り
たくなる地域に開かれ
た公民館
- 2 自分自身の向上、学び
を大切にする公民館
- 3 人づくり地域づくりに
貢献できるリーダーが
育つ公民館



総会の様子

ハーモニカの音色に癒され… ロビーミニコンサート

5月10日(火)、公民館1階ロビーにて、社会教育関係団体「長門ハーモニカサークル」の皆さんによるミニコンサートを開催しました。

ハーモニカの種類や演奏方法についてのお話を交えながら、童謡や唱歌、歌謡曲などハーモニカの心地よい音色がロビーに響き渡りました。

地域の方や深川幼稚園児など多くの方々に来ていただき、演奏に合わせて一緒に口ずさむ姿も見られました。演奏を聴いた方からは、「懐かしい曲もあり楽しかった。」「ハーモニカの音色に癒された。」という声が聞かれました。サークルの皆さんも、「お客さんに聴いてもらえると練習にも張り合いがあり嬉しい。」と話されていました。

公民館では、このようなロビーミニコンサートを開催し、登録団体の発表の場、また地域の方々が気軽につどえる憩いの場となるようロビーのフリースペースを有効活用しています。

コロナ禍で
なかなか披
露する機会
がない…など
発表の場を
設けたいとい
う団体はぜひ
お申し出く
ださい。



吉本小百合先生



わくわく土曜塾 開講 中学生と芋苗植え

5月14日(土)、今年度初回のわくわく土曜塾が行われました。今年度は市内の小学生30名が塾生として参加し、異年齢による5つの縦割り班に分かれて活動します。

初回は深川中学校の畑で、中学生や深川中おたすけ隊、深川中PTAや職員の皆さんと芋苗植えを行いました。芋苗はJAから提供していただきました。10月の活動で収穫する予定です。

最初に中学生も縦割り班に加わり、班内で自己紹介をしてから作業に移りました。前日までの雨で畑がぬかるんだ状態で、塾生は土に足をとられて四苦八苦したり、水たまりに集まる虫に怖がりたりする子もいました。しかし、中学生のリードもあつて協力して作業を進め、終了予定時間を大幅に繰り上げるほど頑張っていました。泥だらけになりましたが、土に足が埋まったのが面白かったと感想発表で話す子もいる等、雨上がりの畑での中学生との作業は、貴重な体験となったようです。



航海安全と大漁を願って 妙現（見）祭、湊船祭

5月3日（火）、湊地区の妙見山にある妙現社で妙現祭が行われました。妙現社は室町時代の中期に長門国の守護代であった鷲頭弘忠によつて建立されたといわれており、500年以上の歴史があります。飯山八幡宮と御所原大神宮の両宮司による神事が行われ、参列した湊地区の漁業関係代表者が玉ぐしをささげ、航海の安全と大漁を祈願しました。

また、妙現祭の終了後には、山口県漁協湊市場で湊船祭が開催され、神事が行われました。

五月晴れの青空のもと、今年は大漁旗を掲げた4隻の船が湊漁港を出港。宮司も乗船するなか、深川湾を一周しました。昨年は新型コロナウイルスの影響で1隻のみのパレードでしたが、今年は賑やかさが戻って安心するともに、今年一年の大漁を願う一日となりました。



▲妙現社で宮司が神事を執り行った



▲大漁旗を掲げた船が深川湾をパレード

早く元気に育ってね！ 稚あゆの放流

5月19日（木）、深川川で小学生によるあゆの放流体験がありました。長寿橋下流の河川敷では深川小学校4年生83人、義隆橋付近では向陽小学校4年生7人が参加し、約10cmほどに育ったあゆの稚魚を放流しました。

あゆの放流は平成19年から深川川漁業協同組合が深川川の環境づくりやあゆの資源確保を目的に行っており、放流体験は環境美化の大切さを子供たちに伝えるために行われています。

今年も深川川の13カ所で計5万匹のあゆが放流され、これから夏にかけて約30cmほどに育っていくとのことでした。あゆをじかに触った子どもたちからは「すいかのにおいがする」という感想や、あゆは漢字で『かおるうお（香魚）』とも書きますとの説明には「本当じゃあー！」といううなずきの声が続いていました。



▲バケツに入ったあゆの稚魚を放流



▲あゆの生態や水の大切さについて学んだ

青少年育成市民会議深川支部 第1回理事会・総会

5月13日（金）、物産観光センターにて、青少年育成市民会議深川支部の今年度第1回理事会・総会が行われました。

理事会・総会では昨年度の活動・決算報告と、今年度の活動案と予算案について話し合わせ、活動案・予算案共に承認されました。また、深川地区の小中学校校長から今年度に入ってからの子どもたちの様子を、長門市駅前交番からは深川地区で起きている子どもたちに関わる注意事項についてお話がありました。

今年度は、まず6月に3年振りとなるブロック会議の開催を予定しています。今年度も、子どもたちを深川地区全体で見守るように働きかけていきたいと思っています。



地区の方へのお願い

（長門市駅前交番から）

- ウォーキング等をしながらの「ながら見守り」
- 横断歩道は手を挙げて渡る。
- 児童虐待と思われるた積極的に110番を。
- 子どもたちのSNS使用に注意。